

## 第 9 回 HALS グループミーティングを終えて

この度は、皆様のご協力をいただきまして、無事に第 9 回 HALS グループミーティングを開催することができました。ご参加いただきました皆様がた、そして会の準備にご尽力賜りましたスタッフの皆様がたへ、心より感謝いたします。

今回も本会に先立ち HALS ハンズオンセミナーを開催いたしました。今回は本会の会場でおこなったこともあって見学されるかたも多数いらして大変盛況となりました。講師をお引受けいただきました板橋先生、小川先生には感謝申し上げます。

本会では一般演題、特別企画ともに、各領域から多数のご発表をいただきました。個々の症例の個別具体的な対応方法やテクニックから、開腹手術や完全腹腔鏡手術に対する HALS 手術の優位性の統計学的な検討など、発表内容も多岐にわたり、大変興味深い内容となりました。ご発表いただいた先生がた、座長の先生がたに御礼申し上げます。

今回のテーマは「HALS のスタンダード・テクニックを極める」といたしました。ショートレクチャーでは、左手の手技の整理を試みました。腕、手、指のポジションについて、呼称を含めて系統立てて整理をおこない、「標準手技」とすることによって、HALS がより確立されたものとなっていくことが期待されました。特別企画では、主に大腸手術における「HALS の標準術式」についてご発表、ご討論いただきました。各ご施設でそれぞれの工夫があって、完全に同じ手術とはなりませんが、そのうえにはすべてに共通する手技や考え方があり、「HALS 大腸手術の標準術式」という概念はほぼ確立してきたものと感じられました。

最後に、ご多忙の中で会場まで足をお運びいただきました医師、コメディカルの皆様、会の運営や進行に多大なるご協力を賜りました、株式会社メディカルリーダーズ、アプライドメディカル、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社、コヴィディエンジャパン株式会社の皆様、プログラムへの広告掲載等でご協力をいただきました協賛企業の皆様、そして研究会の準備から開催までのすべてのマネジメントを一手にお引受け頂きました事務局の木島さまには、紙面をお借りいたしまして、あらためて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

2018 年 10 月 20 日

第 9 回 HALS グループミーティング当番世話人  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 木村英明

## 第9回 HALS グループミーティング開催風景



昨年度に引き続き HALS ハンズオンセミナーを開催 多数の見学者を交えての大盛況



ショートレクチャーでは HALS の標準手技について、実技を含めて紹介



今年度より設けられた「優秀演題賞」

初の受賞者は矢野雷太先生（広島大学大学院医歯薬保険学研究科外科学）

演題名 「潰瘍性大腸炎に対する HALS 併用 2 期分割大腸全摘手術」

プレゼンターの板橋道朗先生（代表世話人）木村英明先生（第 9 回当番世話人）と